

令和2年度 公共事業 再評価 対象事業一覧表

資料 1

(交通基盤部所管事業)

単位(事業費)：百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係 市町	事業概要			再評価 理由	前回再評価時点からの比較			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定					特記事項 事業費 負担割合	担当課								
					評価 時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率		事業の投資効果	事業の 必要性	進捗の 見込み	対応方針 (案)	理 由	1事業 のみ	①社会的 注目度等	②計画 変更等	③事業 規模			④事業費 変更等	選 定 結 果						
						上段：前回又は着手時	下段：今回																			上段：前回又は着手時	下段：今回	上段：当初または前回	下段：今回	上段：当初または前回	下段：今回
						下段：今回																				下段：今回		下段：今回		下段：今回	
1	静岡県	道路改良事業	いっぴやくどう 二つくもみ 一般国道136号霊見 まつぎやくく 松崎拡幅	松崎町	H28 (前回)	H18~H32	4,552	社会経済情勢の急 激な変化等 (事業期間の延 伸)	1,038	22.8%	B/C: 1.4	◎	◎	継続	・本事業は、一般国道136号現道のすれ違い困難な狭隘 区間を解消することにより、交通の円滑化が確保され、 緊急輸送路としても重要な役割を果たすものである。 ・費用対効果も見込まれ、観光の活性化に大きく寄与す ることから、事業を継続して早期完成を図る。	-	-	-	○	◎	国 県	55% 45%	道路整備課								
R2 (今回)	H18~R12 (+67%)	4,552 (変更なし)	2,341	51.4% (+28.6%)	B/C: 1.08 EIRR: 4.2%																										
2	静岡県	道路改良事業	しほようちほうどうよしだ 主要地方道吉田大 いんぎん 東線	牧之原市	H28 (前回)	H28~H34	1,400	事業採択 (H28)後 5年が経過	0.00	0%	B/C: 2.4	◎	◎	継続	・本事業は鳥田市と牧之原市間の東西軸を強化し、空港 へのアクセス向上や地域の交通安全、幹線道路の強靱化 に資するものである。 ・費用対効果も見込まれ、産業や観光の活性化に大きく 寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。	-	-	-	-	-	-	国 県	50% 50%	道路整備課							
R2 (今回)	H28~H37 (+43%)	1,810 (+29%)	350.00	19.3% (+19.3%)	B/C: 3.4 EIRR: 12.6%																										
3	静岡県	広域河川改修事業	にきふせせんじんぐうじか 二級河川神宮寺川	浜松市	-	-	-	整備計画策定 (H28)後 5年経過	-	-	-	◎	◎	継続	・流域の治水安全度を向上させ、浸水被害の解消を図る ものである。 ・費用対効果も見込まれ、地域の安全・安心に寄与する ことから、事業継続とする。	-	-	-	-	-	-	国 県	50% 50%	河川海岸整 備課							
R2 (今回)	H28~R10	562	260	46.3%	B/C: 1.6 EIRR: 8.0%																										
4	静岡県	広域河川改修事業	にきふせせんじんぐうじか 二級河川堀留川	浜松市	-	-	-	整備計画策定 (H28)後 5年経過	-	-	-	◎	◎	継続	・流域の治水安全度を向上させ、床上浸水被害の解消を 図るものである。 ・費用対効果も見込まれ、地域の安全・安心に寄与する ことから、事業継続とする。	-	-	-	○	-	◎	国 県	50% 50%	河川海岸整 備課							
R2 (今回)	H26~R26	12,300	790	6.4%	B/C: 16.6 EIRR: 67.6%																										
5	静岡県	浜松飛行場周辺障害防 止対策事業	にきふせせんじんぐうじか 二級河川東神田川	浜松市	-	-	-	整備計画策定 (H28)後 5年経過	-	-	-	◎	◎	継続	・流域の治水安全度を向上させ、浸水被害の解消を図る ものである。 ・費用対効果も見込まれ、地域の安全・安心に寄与する ことから、事業継続とする。	-	-	-	-	-	-	国 県	50% 50%	河川海岸整 備課							
R2 (今回)	H26~R13	2,160	781	36.2%	B/C: 1.8 EIRR: 8.5%																										
6	静岡県	事業間連携河川事業	にきふせせんじんぐうじか 二級河川坂口谷川	牧之原市・吉田 町	-	-	-	整備計画策定 (H28)後 5年経過	-	-	-	◎	◎	継続	・レベル1津波に対する被害の防止を図るものである。 ・費用対効果も見込まれ、地域の安全・安心に寄与する ことから、事業継続とする。	-	-	-	-	-	-	国 県	50% 50%	河川海岸整 備課							
R2 (今回)	H28~R5	3,086	1,982	64.0%	B/C: 1.2 EIRR: 35.5%																										
7	静岡県	総合流域防災事業	いっぴやくせせせせせせ 一級河川境川	三島市・清 水町	H27 (前回)	S48~R6	3,749	再評価実施 (H27)後 5年間経過	2,675	71.4%	B/C: 2.53	◎	◎	継続	・流域の治水安全度を向上させ、浸水被害の解消を図る ものである。 ・費用対効果も見込まれ、地域の安全・安心に寄与する ことから、事業継続とする。	-	-	-	-	-	-	国 県	50% 50%	河川海岸整 備課							
R2 (今回)	S48~R6 (変更なし)	3,940 (+5%、191増)	3,660	92.9%	B/C: 2.9 EIRR: 14.8%																										
8	静岡県	通常砂防事業	ちほびらさき 立花寺沢	静岡市	H28 (当初)	H28~R2	150	事業採択 (H28)後 5年間経過	0.00	0.00	B/C: 13.8	◎	◎	継続	・地盤改良工の増加により、全体事 業費が増えた。 ・全体事業費の増 額により、完了年 度を延伸した。	-	-	-	-	○	-	国 県	50% 50%	砂防課							
R02 (今回)	H28~R5 (+60%、3年延伸)	256 (+71%、106増)	148 (+148)	57.8% (+57.8%)	B/C: 8.2 EIRR: 40.8%																										
9	静岡県	通常砂防事業	にし ひらさわ 西の平沢	浜松市	H28 (当初)	H28~R2	260	事業採択 (H28)後 5年間経過	0.00	0.00	B/C: 10.0	◎	◎	継続	・事業は、土石流による被害を未然に防止するもので ある。 ・費用対効果も見込まれ、安全・安心な生活基盤に大き く寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。	-	-	-	-	○	-	国 県	50% 50%	砂防課							
R02 (今回)	H28~R7 (+100%、5年延伸)	350 (+35%、90増)	165 (+165)	47.1% (+47.1%)	B/C: 7.5 EIRR: 36.8%																										
10	静岡県	通常砂防事業	ちほびらさき 湯谷北沢	藤枝市	H28 (当初)	H28~R3	343	事業採択 (H28)後 5年間経過	0.00	0.00	B/C: 10.5	◎	◎	継続	・本事業は、土石流による被害を未然に防止するもので ある。 ・費用対効果も見込まれ、安全・安心な生活基盤に大き く寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。	-	-	-	-	-	-	国 県	50% 50%	砂防課							
R02 (今回)	H28~R6 (+50%、3年延伸)	443 (+29%、100増)	211 (+211)	47.6% (+47.6%)	B/C: 8.8 EIRR: 43.8%																										
11	静岡県	火山砂防事業	しもた ぶらやま 下賀小山沢	熱海市	H28 (当初)	H28~R1	158	事業採択 (H28)後 5年間経過	0.00	0.00	B/C: 33.7	◎	◎	継続	・地元調整の難航 により、完了年 度を延伸した。	-	-	-	-	○	-	国 県	55% 45%	砂防課							
R02 (今回)	H28~R6 (+125%、5年延伸)	186 (+18%、28増)	61 (+61)	32.7% (+32.7%)	B/C: 23.2 EIRR: 115.5%																										
12	静岡県	地すべり対策事業	くさかもと 口坂本No.2	静岡市	H28 (当初)	H28~R7	1,200	事業採択 (H28)後 5年間経過	0.00	0.00	B/C: 1.8	◎	◎	継続	・本事業は、地すべりによる被害を未然に防止するもの である。 ・費用対効果も見込まれ、安全・安心な生活基盤に大き く寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。	-	-	-	○	-	-	国 県	50% 50%	砂防課							
R02 (今回)	H28~R7 (変更なし)	1,390 (+16%、190増)	524 (+524)	37.6% (+37.6%)	B/C: 1.4 EIRR: 6.4%																										

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回再評価時点からの比較			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定					特記事項	担当課							
					評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率		事業の投資効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	選定の視点												
						上段: 前回又は着手時	下段: 今回											上段: 前回又は着手時	下段: 今回	上段: 当初または前回	下段: 今回			上段: 当初または前回	下段: 今回	1事業のみ	①社会的注目度等	②計画変更等	③事業規模	④事業費変更等
13	静岡県	地すべり対策事業	あふりがな 面所名	浜松市	H28(当初)	H28~R3	190	事業採択(H28)後5年間経過	0.00	0.00	B/C: 4.4	◎	◎	継続	・本事業は、地すべりによる被害を未然に防止するものである。 ・費用対効果も見込まれ、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。	-	-	-	-	-	国 50% 県 50%	砂防課								
					R02(今回)	H28~R6(+50%、3年延伸)	190(変更なし)		49(+49)	25.9%(+25.9%)	B/C: 3.1 EIRR: 15.0%																			
14	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	ひらぶら 広岡理通山	下田市	H28(当初)	H28~R2	247	事業採択(H28)後5年間経過	0.00	0.00%	B/C: 10.2	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	○	国 40% 県 40% 市 20%	砂防課								
					R02(今回)	H28~R7(+100%、5年延伸)	320(+29%、73増)		215(+215)	67.1%(+67.1%)	B/C: 5.4 EIRR: 24.1%																			
15	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	はら 原	伊豆市	H28(当初)	H28~R2	361	事業採択(H28)後5年間経過	0.00	0.00%	B/C: 1.9	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	-	国47.5% 県47.5% 市 5%	※評価調書の作成は省略	砂防課							
					R02(今回)	H28~R5(+60%、3年延伸)	361(変更なし)		228(+228)	63.1%(+63.1%)	B/C: 2.8 EIRR: 11.4%																			
16	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	ながめ 長沼五郎松	静岡市	H27(前回)	H23~H30	230	再評価実施(H27)後5年間経過	120.00	52.20%	B/C: 3.1	◎	◎	継続	・地質が想定以上に脆弱で、法枠工及び鉄筋挿入工の追加等により、全体事業費が増加し、完了年度を延伸した	-	-	-	-	○	国 45% 県 45% 市 10%	砂防課								
					R02(今回)	H23~R3(+37%、3年延伸)	448(+95%、218増)		382(+262)	85.2%(+33.0%)	B/C: 1.7 EIRR: 6.4%																			
17	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	みずか 水川橋向	川根本町	H28(当初)	H28~R3	332	事業採択(H28)後5年間経過	0.00	0.00%	B/C: 1.0	◎	◎	継続	・本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。 ・事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業継続とする。	-	-	-	-	-	国47.5% 県47.5% 市 5%	※評価調書の作成は省略	砂防課							
					R02(今回)	H28~R4(+17%、1年延伸)	332(変更なし)		269(+269)	81.0%(+81.0%)	B/C: 1.3 EIRR: 5.9%																			
18	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	ひらま 平松敷下白	磐田市	H28(当初)	H28~R2	235	事業採択(H28)後5年間経過	0.00	0.00%	B/C: 2.1	◎	◎	継続	・地盤改良工の増加により、全体事業費が増えた ・全体事業費の増額により、完了年度を延伸した	-	-	-	-	○	国 47.5% 県 47.5% 市 5%	砂防課								
					R02(今回)	H28~R3(+20%、1年延伸)	312(32%、77増)		242(+242)	77.5%(+77.5%)	B/C: 2.3 EIRR: 11.2%																			
19	静岡県	地すべり防止事業(治山事業)	くだり 下里	浜松市	H22(当初)	H22~R2	657	事業採択(H22)後10年間経過	0.00	0.00	B/C: 1.4	◎	◎	継続	・ブロック末端部の山腹崩壊による抑制工により、全体事業費が増えた。 ・全体事業費の増額により、完了年度を延伸する	-	-	-	○	○	◎	国 50% 県 50%	砂防課							
					R02(今回)	H22~R5(+27%、3年延伸)	1,520(+130%、860増)		624(+624)	41.1%(+41.1%)	B/C: 1.1 EIRR: 5.4%																			
20	静岡県	海岸(高潮)事業	ぬまづ 沼津港海岸	沼津市	H27(前回)	H8~R4	5,471	再評価実施(H27)後5年間経過	5,129	93.7%	B/C: 6.5	◎	◎	継続	・事業は順調に推移しており、地震・津波対策アクションプログラム2013に位置付けており、費用対効果も十分に認められ、津波対策に対する地域住民の要望も非常に大きいため、事業を継続し早期完成を図る。	-	○	-	○	-	◎	国 50% 県 50%	港湾整備課							
					R2(今回)	H8~R4(変更なし)	5,657(+3.4%)		5,534(+405)	97.8%(+4.1%)	B/C: 19.2 EIRR: 27.1%																			
21	静岡県	港湾改修事業	しもだ 下田港	下田市	H27(前回)	H8~R2	2,125	再評価実施(H27)後5年間経過	1,607	75.6%	B/C: 1.3	◎	◎	継続	・事業は順調に推移しており、地元(漁業関係者)からの早期完成に対する期待も高く、費用対効果も認められることから、継続して早期完了を図る。	-	-	-	-	-	国 40% 県 50% 市 10%	港湾整備課								
					R2(今回)	H8~R3(+4.0%)	2,204(+3.7%)		2,008(+401)	91.1%(+15.5%)	B/C: 1.2 EIRR: 5.9%																			
22	静岡県	街路整備事業	あまのり 都市計画道路焼津広幅線(越後島工区)	焼津市	-	-	-	事業採択(H28)後5年間経過	-	-	-	◎	◎	継続	・東名高速道路や新東名高速道路等の広域連携軸とを結ぶ重要な路線であり、本路線の整備により市街地内外の移動の円滑や安全性の向上につながる。機能的な都市活動と安全で快適な都市生活に資する街路事業である。 ・費用対効果も見込まれ、用地買収や工事も順調に進捗しているため、事業を継続して早期の完成を図る。	-	-	-	○	-	◎	国 55.0% 県 30.0% 市 15.0%	街路整備課							
					R2(今回)	H28~R10	7,058		2,692	38.1%	B/C: 1.3 EIRR: 5.5%																			
23	静岡県	街路整備事業	あまのり 都市計画道路谷田原線(幸原町工区)	三島市	H27(前回)	H23~R1	3,356	再評価実施(H27)後5年間経過	1,793	53.4%	B/C: 1.1	◎	◎	継続	・主要幹線道路間を結ぶ重要な路線であり、本路線の整備により市街地内外の移動が円滑になるとともに、都市内の安全性の向上につながる。機能的な都市活動と安全で快適な都市生活に資する街路事業である。 ・費用対効果も見込まれ、用地買収や工事も順調に進捗しているため、事業を継続して早期の完成を図る。	-	-	-	-	-	国 55.0% 県 30.0% 市 15.0%	街路整備課								
					R2(今回)	H23~R3(+22%)	3,700(+10%)		3,247(+1,454)	87.8%(+34.4%)	B/C: 1.1 EIRR: 4.9%																			
24	静岡県	公害防止対策事業	こよ 子子の浦港	富士市	H28(前回)	H15~H32	10,067	社会経済情勢の急激な変化等(事業期間の延伸)	10,067	85.3%	B/C: 1.5	◎	◎	継続	・費用対効果も十分に認められ、底質環境改善に対する地域住民の期待も非常に大きいため、事業継続とする。	-	○	○	○	-	国 50.0% 県 50.0%	港湾整備課								
					R2(今回)	H15~R4(+11%)	10,407(+3.4%)		10,407(+340)	96.7%(+11.4%)	B/C: 1.3 EIRR: 4.9%																			

※1 「変更理由等」欄は、全体事業費の変動が3割を超える場合、計画期間の変動が5割を超える場合に記入する

※2 「評価の視点」欄は、「継続が妥当」→◎、「見直しにより継続が妥当」→○、「継続は妥当ではない」→×

○代表説明事業選定の視点

・以下の点に基づき代表箇所を選定する。

・なお、①、②に該当する場合には、複数となっても必ず選定する。

① 社会的に注目されている、課題が大きいなどの箇所(B/C<1など)

② 事業計画を変更または中止する箇所

③ 事業規模が大、事業期間が長い箇所

④ 計画時又は前回再評価時と著しく事業費・計画期間、効果が異なった箇所

(事業費は3割を超えて増加している場合、計画期間は5割を超えて延長している場合など)